

目的

病院医療において患者本位の質を確立し継続的に向上させるための質保証システムと組織的な質管理のありかたのモデルを構築する実証研究

医療のTQM実証プロジェクト

NDP (*National Demonstration Project on TQM for Health*)

厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業
協力 医療のTQM推進協議会

NDPのねらい

患者さんや地域社会に
選ばれ信頼される病院

経営の安定

働き甲斐のある病院

患者さんと地域社会のニーズを理解しこれに応えられる能力

患者本位の質を設計し実現できる

質不良を防止できる

継続的・発展的に改善できる

質を保証できる組織的な能力

教育研修

機構改革

ニーズを把握する能力

問題を認知する能力

問題をシステム要因に展開できる能力

チームで問題を解決する能力

継続的な改善を可能にする能力

質保証プログラム(組織体制)の確立

質経営の理念と方針

システム設計の見なおしと標準化

改善プロジェクト

患者本位の質指標による評価とモニタリング

厚労省科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業

「医療提供システムの総合的質管理手法に関する研究」 (平成13－15年度)

- 上原 鳴夫 東北大学大学院医学系研究科
- 飯塚 悦功 東京大学大学院工学系研究科
- 三宅 祥三 武蔵野赤十字病院
- 棟近 雅彦 早稲田大学工学部
- 河野 龍太郎 東京電力技術開発研究所
- 瀬尾 隆 医学ジャーナリスト協会
- 武澤 純 名古屋大学大学院医学系研究科
- 大内 憲明 東北大学大学院医学系研究科
- 北島 政憲 宝生会PL病院
- 安藤 廣美 麻生飯塚病院
- 夏川 周介 佐久総合病院

(敬称略)

企画調整委員

(順不同、敬称略)

- 上原 鳴夫 東北大学大学院医学系研究科国際保健学分野教授
- 飯塚 悦功 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学教授
- 三宅 祥三 武蔵野赤十字病院院長
- 棟近 雅彦 早稲田大学理工学部経営システム工学科教授

技術部会医療班

(順不同、敬称略)

- 上原 鳴夫 東北大学大学院国際保健学分野 教授
- 高橋 英夫 名古屋大学ICU救急医学 助教授
- 菅野 一男 武蔵野赤十字病院 内科部長
- 我妻 恭行 東北大学付属病院薬剤部 薬務室長
- 杉山 良子 武蔵野赤十字病院 看護師長/GRM
- 菅野 隆彦 武蔵野赤十字病院 心臓血管外科副部長
- 跡部 治 佐久総合病院 薬剤部長
- 大川 禎子 国立仙台病院 看護師長/GRM

質安全管理アドバイザー

(順不同、敬称略)

- 飯塚 悦功 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学教授
- 棟近 雅彦 早稲田大学理工学部経営システム工学科教授
- 河野 龍太郎 東京電力技術開発研究所ヒューマンファクターグループ主管研究員
- 大滝 厚 明治大学工学部教授
- 大藤 正 玉川大学 工学部 経営工学科 助教授
- 村川 賢司 前田建設工業(株) 経営管理本部総合企画部部長(TQM推進担当)
- 福丸 典芳 NTT-ME 第二マーケティング本部 ISO営業部門長
- 井上 則雄 (株)竹中工務店 監理室
- 下山田 薫 コマツスタッフアンドブレイン特別顧問
- 黒田 幸清 日本規格協会審査登録事業部品質システム審査員
- 杉山 哲郎 中部品質管理協会CQCA専務理事
- 小柳津 正彦 (財)日本規格協会 審査登録事業部品質システム審査員
- 山崎 正彦 コニカマーケティング(株)常勤監査役

(研修協力) 日本科学技術研修所

患者による医療の評価

ピッカー研究所方式による統一患者調査

評価尺度

1. 患者の価値観、意向、ニーズの尊重
2. ケアの連携と統合
3. 情報、コミュニケーション、および患者教育
4. 身体の苦痛の解消
5. 心情的支援と恐怖、不安の緩和
6. 家族と友人の関与
7. 転院、退院とケアの継続性

病院合同改善プロジェクト

- 第一次プロジェクトのテーマ

- インスリン治療の安全管理
- 危険薬等の誤投与の防止

- 第二次プロジェクトのテーマ

- インスリン治療の安全管理
- 注射薬指示の標準化
- 薬物投与の安全管理 (輸液ポンプ、安全ハンドブック)
- 臨床研修の安全管理 (研修医や新人ナースが行う危険処置のリスク管理)
- 転倒転落の防止

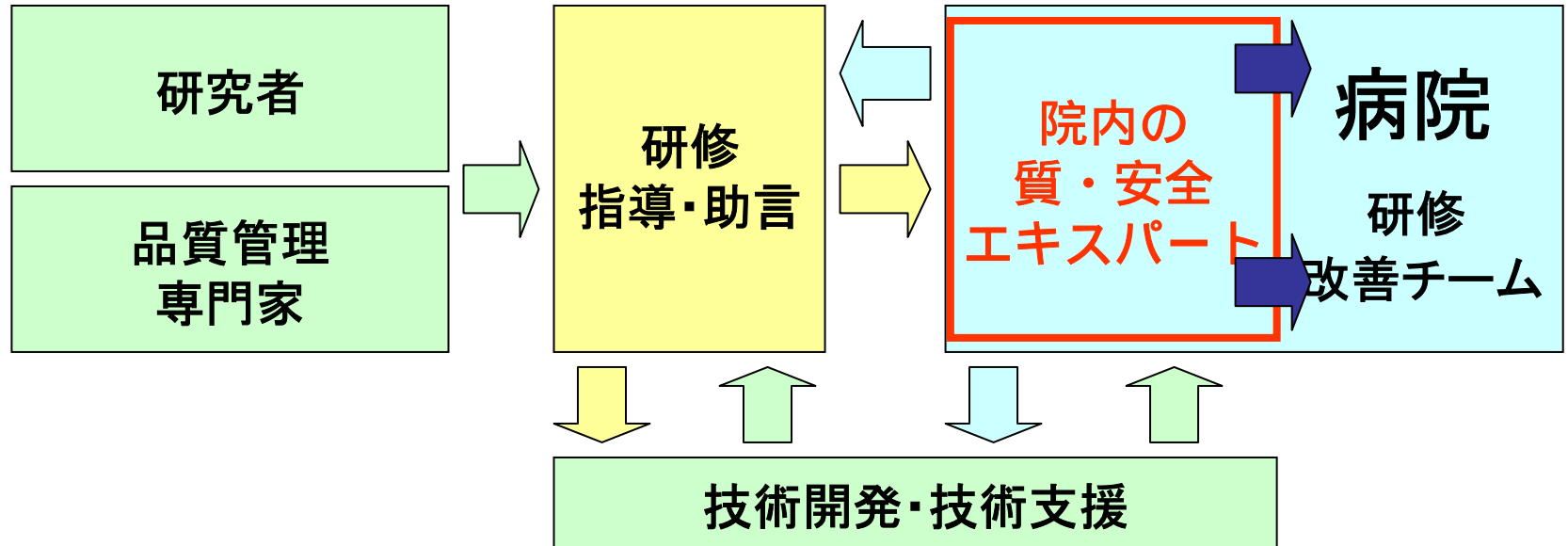
プロジェクト参加病院

1. 病院トップに、組織的に取組む決意がある
2. 会合参加旅費や院内活動の費用を予算化できる
3. 質安全の改善を担当する委員会及び質安全管理専門者を配置でき事務局など事務的支援体制ができる
 - * リスクマネジメントやその他の質安全関連業務との併任でよい
4. 主要部門・職種でQEキスパート（改善アドバイザー）を選任する
 - * 質安全の考え方と改善手法の院内研修の講師を務め、改善プロジェクトの実施にあたって助言指導を行う
5. QCサークル等の改善活動を行っている病院か、この機会に始める病院が望ましい。

- 武蔵野赤十字病院
- 医療法人宝生会PL病院
- 麻生飯塚病院
- 佐久総合病院
- 成田赤十字病院
- 国立仙台病院
- 藤沢町国民健康保険藤沢町民病院
- 東北大学附属病院
- 仙台社会保険病院
- 神鋼加古川病院
- 札幌社会保険総合病院
- 関東中央病院
- 前橋赤十字病院
- 和歌山労災病院
- 岩国市 医師会病院
- 新日鐵広畑病院
- 大樹会回生病院

QEエキスパート

(質安全エキスパート／院内の改善アドバイザー)



QEエキスパート

<前提条件>

- トップのコミットメントとリーダーシップ
- 質・安全管理の専任者
- 質・安全に関する活動を支援する事務局体制があること

<QEエキスパート(改善アドバイザー)>

- 異なる専門職種・部門の人々が、質・安全の考え方と知識・技法を共有する
 - システム・アプローチを可能にする
- ファシリテーター
 - 考え方、知識、技法を組織の中に広め「安全」と「改善」を組織の文化として定着させる
 - 質・安全の取り組みを推進、促進する役割

質安全エキスパート養成研修

総合的質管理の意義について

TQMによる経営管理の質的向上／組織改善におけるトップリーダーシップ

安全管理について

ヒューマンファクター工学と安全管理の考え方／企業における安全対策の取り組みの実際／危険予知トレーニング／エラープルーフの工夫例

標準化について

標準化の意義／「標準」の種類と実例 および標準化の進め方
作業管理標準としてのQC工程表について

インシデント事例の分析手法について

分析から改善へ：事例分析の目的と手順／事象関連図の意義と活用方法
層別の意義と多変量相関図の活用方法

改善の技法

問題解決の基本的な考え方／問題解決の手順(QIステップ)／七つ道具と新七つ道具

医療安全4つの技法

- 要因解析の技法
- 問題解決による改善の技法
- エラー防止の技法
- 標準化の技法

事例分析の基本的ツール

- ブレンストーミング(&カード法)
- プロセス・フロー図
- 事象関連図
- 特性要因図
- 系統図
- マトリクス図
- 層別

NDP実行委員会の構成

NDP企画調整委員会

NDP全体の戦略、モニタリング、評価、研究事項を計画し実施調整する

改善プロジェクト 運営会議

参加病院の改善プロジェクトを
推進・支援

テーマ別病院グループ A,B,C,D,E

プロジェクトチーム

タスク

プロジェクトチーム

タスク

プロジェクトチーム

タスク

プロジェクトチーム

タスク

プロジェクトチーム

タスク

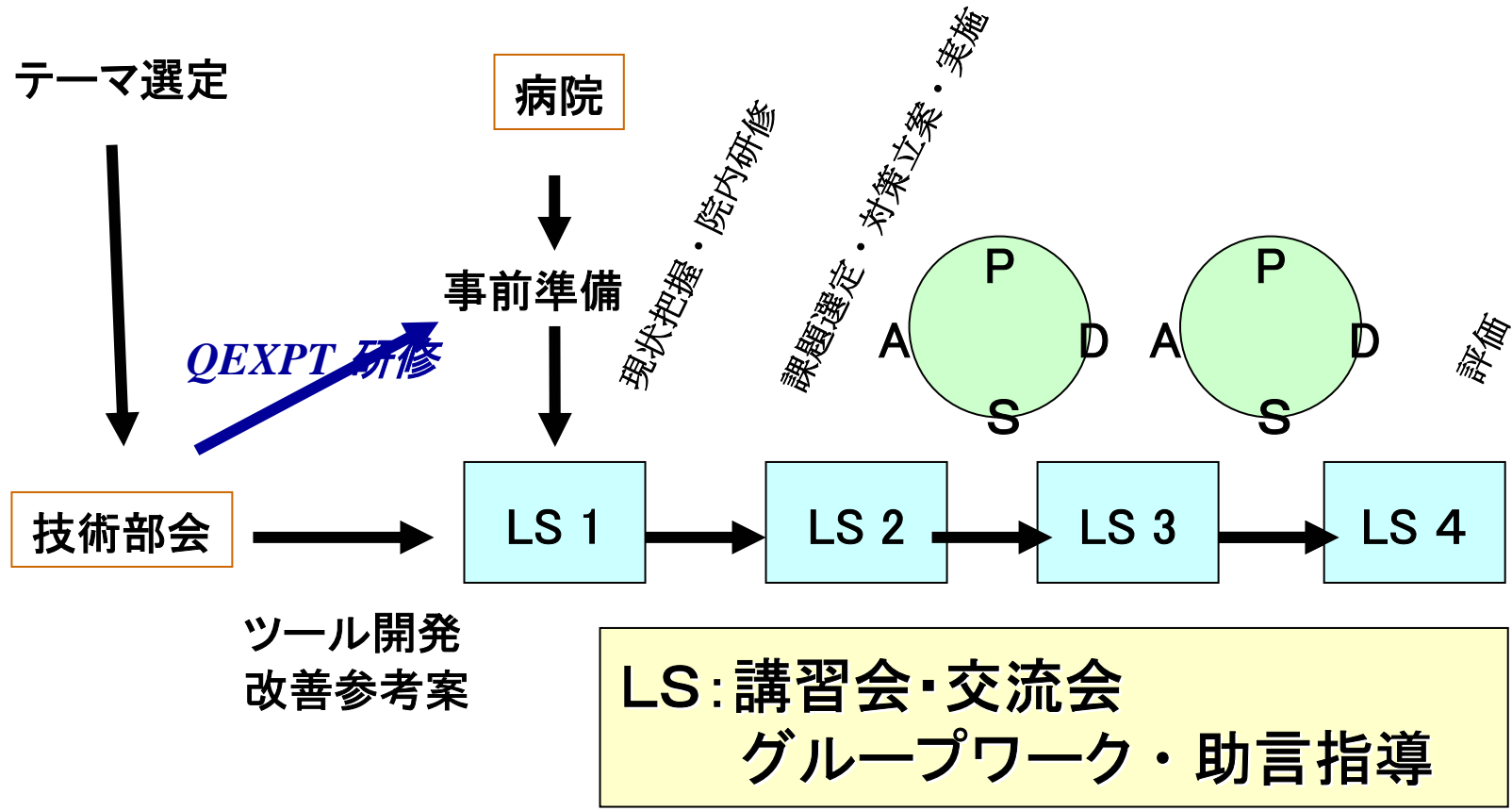
技術開発部会

質安全管理アドバイザー
医療技術班

タスクフォース

患者調査部会

分担研究班
フォーカス・パネル



問題解決のレベル

個人で改善すること

質の文化
知識技術の向上

職場レベル(のシステム)で改善すること

改善サークル活動
システム思考

組織レベル(のシステム)で改善すること

質経営の理念と方針
質保証プログラム
課題別改善チームプロジェクト
戦略的機構改革

社会の取組みによって改善すること

学会による質保証の取組み
関連業界の取組み
政策的措置
賢明な医療消費者への支援

提言を行う

社会からの質の要求

具体的な問題を解決することを通じて、
医療の質安全保証を推進する組織文化と組織能力を形成する

Qエキスパートの育成と「安全の文化」の浸透

医療の質安全向上のための
病院合同改善プロジェクト
第1次改善プロジェクト
第2次改善プロジェクト
：
：

患者の目で見た医療評価

ステージ 1
ステージ 2
ステージ 3

質保証システム作り(TQMの活用)